



台風が多数発生する時期です

台風への備えはお済みですか？

夏の到来とともに、毎年のようにやってくる台風。最近では、平成30年9月に中国・関西地方に上陸した台風21号によって、各地に甚大な被害をもたらしたことを記憶されている方が多いのではないのでしょうか？
そこで、普段から行っておきたい準備や、台風の接近前に自宅でできる対策をご紹介します。

【普段からできる台風対策】

①非常用品を用意する

台風対策に限らず、いつ来るか分からない自然災害に備えて、日頃から非常用品を備えておくことが大事です。非常用品としては、一般的に以下のような物をそろえておくといよいでしょう。

- 懐中電灯や予備電池
- 着替え、タオル
- 衛生用品
- ライター、マッチ
- 救急セット
- 携帯ラジオ
- 非常食、飲料水
- 貴重品



こうした非常用品を人数分用意し、非常時にすぐ持ち出せるようにしておきましょう。
避難するときは両手が使える状態が望ましいので、リュックサックなどにまとめて詰めておくとう安心です。
*上記の非常用品はあくまでも一例です。例えば、赤ちゃんのいる家庭では、このほかにミルク・紙おむつ・ほ乳ビンなども準備しておく必要があります。

②家の外を掃除しておく

家の周りの側溝や排水溝に物が溜まっていると、大雨が降った際に水が溢れ出す危険性があります。そのため、普段から側溝や排水溝を確認し、落ち葉やごみ等を取り除き、水はけをよくしておきましょう。
また、台風が近づくと風が強くなりますので、家の周りを確認して、飛ばされそうな物は、あらかじめ片づけて、固定したりしておきましょう。植木鉢など、普段は飛ばされることがないと思うような物も、大丈夫と思わずに片づけましょう。

③ハザードマップを確認しておく

ハザードマップは、自然災害(洪水、土砂災害、津波、高潮、地震)によって想定される被害の程度や被害範囲を地図上に示したものです。台風がやってくる前に、避難所までのルートを確認するなど、家族で話し合っておきましょう。

ハザードマップは、各家庭に1冊配布していますが、まだ受け取っていない世帯の方は防災管理課までお越しください。



【台風が接近しているときにできる対策】

①気象情報をこまめにチェック！

台風が接近している非常時には、最新の情報を入手することが何よりも大切です。台風の接近や雨風による重大な被害が予想される際には、気象庁が「台風情報」や「警報・注意報」を発表しますので、こうした情報をこまめに確認し、必要に応じて避難するなどの判断をするようにしましょう。

②窓を補強する

台風が近づき風が強くなると、物が飛ばされて窓にあたり、窓ガラスが割れてしまうおそれがあります。窓ガラスを段ボールとガムテープなどで覆い、割れたガラスの飛散を防止する対策をしておくのもよいでしょう。ただし、これはあくまでも割れたガラスが室内に飛び散ることを防ぐのが目的です。窓そのものの強度をあげる効果は期待できませんのでご注意ください。

③不要な外出は控える

台風が接近してきたら、基本的には家の中心部で過ごすようにしましょう。万が一、物が飛んできて、窓が割れたり、扉が開いてしまうと、窓や扉の近くは、けがをするリスクが高くなります。
また、家の周囲の様子が気になったとしても、不用意に外に出て確認しに行かないでください。川が増水していたり、側溝と道路の境目が分からなくなっていたりして、思わぬ事故を招いてしまうおそれがあります。
やむを得ず外出する場合は、ハザードマップを確認し、土砂災害や浸水害などの危険性がある場所を避けるように注意しましょう。外出先でも、最新の情報や警報・注意報をチェックするようにし、避難指示が出た場合は直ちに避難行動をとります。

■平成3年にはこんなことも…

青森県は、全国的な統計から見ると、台風・大雨被害が比較的少ないですが、時として大きな風水害による被害に遭っています。平成3年の台風19号(通称リンゴ台風)では、収穫前のりんご約38万トンが落下するなど大きな被害を受けました。



屋根トタン飛散による電柱倒壊(平川市)



りんご樹体ごと全滅した園地(弘前市)

平成3年の台風19号(平成3年9月28日)



日本海上を時速90～100kmの猛スピードで北上



本県に接近したのは明け方でした。



- ▷最大瞬間風速 53.9m
- ▷死者9名、負傷者255名
- ▷住家全壊122棟、半壊1,772棟、一部破損12,785棟
- ▷被害総額1,129億円(うち、りんご被害741億円)

問い合わせ先…防災管理課 内線2144